

なかしべつ

議会だより



活力みなぎる緑の郷土 なかしべつ



春への一歩…顔を出したフキノトウ



- 議会改革特別委員会の審議結果報告 ②
- 一般行政報告・教育行政報告 ③
- 一般質問に8人で11問 ④～⑨
- 3月定例会及び第1回臨時議会で議決 ⑩
- 20年度各会計予算概要と一問一答 ⑪
- 閉会中の常任委員会活動レポート ⑭～⑮

平成20年4月

No. 77

議会改革特別委員会結審

わかろやくすく、皆のまじりもじりまむ議事をぬれつて

議会改革特別委員会から

（委員長 松村康弘議員）

審議は平成18年10月19日から平成20年2月27日までの間、検討項目10件及び議会運営委員会検討項目5件について、議会運営委員会との連携も含め、議会改革特別委員会として14回の審議、2回の視察を行い、その間、議員協議会への経過の報告、また意見、同意をいただきながら、議会のさらなる改革と住民の議会改革に対する理解をいただくため議論を重ね、その結果を報告いたします。

定数削減後の常任委員会の設置数については、24名から18名となることから「3常任委員会」との結論になりました。

常任委員会名称については「総務文教常任委員会」「厚生常任委員会」「産業建設常任委員会」との結論になりました。

一般質問改革については、すでに再質問は一問一答方式を実行しておりますが、傍聴者にも論点が分かり易い議論のやり取りが充実することからその推移を見守っています。今後は理事者側に「反問権」を付与し、さらに議場での議論の充実を期待することになりました。

議員の視察、研修等で宿泊を伴わない日帰り日当はすでに理事者、職員は廃止となっており、議会も廃止するとの結論になりました。

常任委員会については、委員長に事故があり長期欠席などで副委員長の委員長代行にかかる件については「委員長は6ヶ月の間、委員会を裁量できない場合は自ら委員長を辞すること」を内規として定め、以降申し送りすることとなりました。広報特別委員会委員長の報酬については、常任委員会委員

長と同じ扱いとすることとし、理事者に申し入れることとなりました。

政務調査費の創設と活用ですが、視察した自治体は全て政務調査費を創設しております。

政務調査費導入の経緯は、自らの議会について、その活動内容や、なぜ政務調査費が必要なのか、ということについて住民に対し議会報告会などを開催することにより、議員活動に対し、深い理解を得て導入されております。

当町議会は、議会広報の充実など今日まで努力してまいりましたが、さらに住民の皆さまと直接対話を充実するなど、より一層の努力をした後、政務調査費創設について理解をしていただくことになり、今は時期尚早という結論になりました。報酬については、本町議会議員報酬は道内でも人口1万人規模の自治体の平均並みであり、2万人以上の自治体の議員報酬より2万円以上低い現状であり理事者に申し入れることになりました。

住民に共感を得て議会改革を実行するため「住民との直接対話」については、先進事例等の視察後に参加議員の深い共感のもと当町議会でも「議会報告会」を実施することになりました。議場での議決に至る過程と議論の内容も含めて、住民の皆さまのところへ出向いて報告することになりました。

本会議の模様を一般来庁者や職員にも聞けるよう、庁内放送で音声を流すこと、3階ロビーにモニターテレビを設置して気軽に傍聴していただける環境を整備することにしました。以上、紙面の関係で主な議題を抜粋にて掲載しましたが、本町議会がさらに町民の皆さまに身近なものになるため努力してまいります。

一般行政報告



寄贈品について

自民党元政務調査会長に日豪EPA交渉で適切な国際規律の確立、乳価の引き上げ、地域医療の医師確保、中標津空港の整備利用促進、釧路・根室中標津道路の早期整備等を要請。

北海道酪農振興町村長会議として農林水産省を始め道選出の国会議員等にWTO・EPA交渉における国際規律の確立、酪農・畜産関連施策の推進や飼料等価格高騰対策の推進等を要請。

根室地方総合開発期成会として、自民党元幹事長に酪農・畜産振興対策の推進、道路網・空港の整備、北方領土問題の解決、地域医療に対する支援を要請。

寄贈品について

町に対して、現金で1件5万円、物品で1件の寄贈が、社会福祉協議会に対して、現金で39件103万4千円の善意が

寄せられました。

国民健康保険税資産割(共有資産)の賦課徴収漏れについて

共有名義の土地家屋の固定資産税額を被保険者の持ち分に按分して賦課の対象とすべきところ賦課対象に取り込んでいない事実が判明しました。

他の市町村でも賦課徴収漏れの報道があり、本町も内容調査をしたところ、保険税算定では対応していないことが判明しました。現在共有資産の持ち分調査と国民健康保険被保険者との照合作業を行っており、按分賦課確定までになお時間を要しますが、法に基づき適正に対応します。

中標津空港の利用促進について

中標津・丘珠間の使用機材のうち1機は東京都からの借用のため、三宅島線再開に伴い返還となり、中標津線を1便減便したいとの説明があり、現在の3便体制をお願いしたところ、現状を維持するが、

逆に搭乗率が採算ラインを大きく下回っていることなどを理由に、4月より千歳便を休止する旨の提案がなされました。

教育行政報告



中標津町青少年健全育成フォーラムについて

町内の小中学生の携帯電話の使用状況及び保護者の実態についてアンケート調査の結果、小学生で19%、中学生で43%が所持し悪口メール等の受信は高学年になるほど増加している。

適切な使用方法について保護者、教育関係者、住民を対象に警察署・N・Tより説明指導を受けました。

各種大会出場

結果について

第23回全道中学・U-14・サッカー大会に中標津中19人、道スポーツ少年団バレーボール大会に丸山小ファイターズバレーボール少年団の12人、第23回道道新杯全道中学選抜卓球大会に広陵中6人、第40回道中学校スキー大会に中標津

中標津空港利用促進期成会としては納得しがたく、千歳便を継続運行できないか、再度全日空本社へ要請活動を行う予定です。

中1人、第18回ヨネックス杯道中学生ソフトテニス研修大会に中標津中女子2人、第8回道中学校新人剣道大会に中標津中男子3人、第34回道中学生インドアソフトテニス選手権大会に中標津中女子2人、第29回道中学生団体対抗ソフトテニス大会に中標津中女子8人が出場しそれぞれ健闘しました。

第42回高文連全道郷土研究発表大会に中標津農業高校9人が出場し奨励賞を受賞。

第38回道中学校スケート・アイスホッケー大会に中標津中4人、計根別中2人、広陵中5人が出場し男子1人が決勝に進み全国大会に出場、8位に入賞しました。

第30回道スポーツ少年団スピードスケート大会で小学生で優勝3人、入賞10人、中学

生3人が入賞。

第59回日本学校農業クラブ全道実績発表大会に中標津農業高校が食育学校での交流活動を発表し、優秀賞を受賞。

第30回全校ジュニアオリリンピックカップ春季水泳競技大会道予選会に出場し、小学5年女子1人が50m自由形・バタフライで全国出場権を獲得。



水泳練習風景

19年度根室管内

教育実践表彰について

計根別中学校とボランティア団体のプラン・ドウ・シーの2団体が受賞。

社会貢献活動等の助成について

中標津農業高校に秋山記念生命科学振興財団より、花と緑で彩る計根別ミルクランドまちづくり活動費として50万円、都市緑化基金より、森づくり活動費として52万1千円の助成金が授与されました。

一般質問

町政を問う



3月定例会では8人の議員が11問の質問をしました。

理事者から、それぞれ答弁がありましたので要約し掲載いたします。

中標津町のフッ素洗口法の導入について

笹谷芳夫 議員

効果的な実施に向けて取り組み

教 育 長

質 問

フッ素が子供達の虫歯の予防に大変効果的であることは古くから知られており、欧米先進地では水道水に一定濃度のフッ素を入れ劇的に虫歯を撃退している。

日本では水道水にフッ素を入れる手法に代わる方法として比較的簡単に導入できる「フッ素洗口法」が日本での歯科公衆衛

生上の効果的予防法であるとの認識のもと厚生労働省、日本歯

科医師会、学校歯科医師会、また各種学会でも推奨されている。

現在町内の全ての幼稚園と保育所とさらに3つの小学校で導入されておりその効果が実証されている。

町内の全小学校でのフッ素洗口法の導入を常に強く教育委員会へ申し入れているが前進の形

跡は認められない。
教育委員会の公式見解を伺いたい。

教 育 長 答 弁

厚生労働省や文部科学省でも推奨しており、4歳から14歳の期間に実施すると予防効果が高いことが厚生労働省のフッ化物洗口ガイドラインに示されているが、全国的に実施は低い。

現在町内の3つの小学校で実施しており、教育委員会として他の小学校にも実施推奨しているが「学校歯科連絡協議会」

を学校歯科医、学校保健担当者及び教育委員会で立ち上げ、協議会での意見を参考にスムーズに効果的な実施に向けて取り組みたい。



虫歯のない白い歯に

医療費の支払い通知

柴野忠征 議員

国保連合会に改善要望を行なう

町 長

質問

国民健康保険の被保険者が医療受診時に医療費が診療月・入院・外来・日数などに区別され、2ヶ月後に医療費のお知らせが郵送されるが本人被保険者に直接関係がなく、利用者・国保両負担分を明記し利用者負担分は、確定申告時の医療費の積算資料、高額医療費の還付請求の根拠資料として使えるよう区分けにし

てはどうか。

医療費の国保負担分が明らかになり、納付意欲も高まり家計にしめる割合が明確になる。本年4月から75才以上の後期高齢者医療制度の発足により、対象者にも継続適用されれば、経費の無駄遣いがなくなる。

町長答弁

医療費通知については、被保

全町民対象に損害保険を

柴野忠征 議員

制度導入の効果検討

町 長

質問

芽室町の全町民損害保険加入制度が報道されたが当町にはその制度がなく、多くの団体が活動していますが、無保険団体も相当数あり、自治体として全町民を対象にした制度を検討すべきだと思います。

町長答弁

芽室町の制度は町が150万円を

負担し、全町民を被保険者とし

社会教育・ボランティア活動や町主催行事参加など幅広い活動を対象にし、平成20年4月の導入予定です。

本町では社会福祉協議会に登録したボランティア・NPO法人などは同協議会を通じ「ボランティア活動保険」に加入し、事故に備えることが可能です。ほかに町民活動に対し各自

険者の健康への認識を深め、国保事業の健全な運営に資することを目的として年6回以上実施するよう「国保事業の運営にあつての留意事項」が定められている。

約2ヶ月に1回実施、診療報酬データの必要性から一括国保連合会にて、受診者名、医療機関名、月、入院外来別、日数、医療費総額の6項目となつております。

総医療費のお知らせは病氣予防、健康づくりの意識高揚、医療機関の不正、過剰請求の抑止

で対応しているのが現状です。

平成17年度からパートナーシップ推進研究会を設置、20年度に検証を踏まえ「町民活動入門講座」をNPOへの委託により開講し、サークル、行政の連携を深め、NPOの活性化を図つていこうと考えております。

全町民の損害保険は、町民活動を行なつていく上でメリットのある有効な環境整備であると捉えることができます。

まちづくりを進めるなかで考え方に關し議論を行ない、制度導入の効果を検討し行なつてい

効果が期待され、被保険者にとつて確定申告医療費資料として活用できればと思います。

現状は法的問題もあり、実現は難しく、取りまとめ機関連である国保連合会に改善要望を行ないます。



くべきと考えております。



中標津町畜産食品加工研修センターの今後の方向性について

吉田 貫一 議員

現在の体制を継続しながら検討

町 長

質問

当町の基幹産業である酪農で生産される牛乳・肉を原材料として、食品加工研修、研究開発を行い、加工された製品を販売し、酪農畜産に対する理解を深めることを目的に、昭和62年に研修センターを計根別に設置をしました。

その間、乳製品の製造指導者は管内をはじめ道東地区にも多

くの実績を誇っており、また地域特産のお土産としても販売されて、好評を得ております。

しかし、加工設備も耐用年数が過ぎ修理をしながら作業をしています。指導者も平成22年退職見込みです。

採算的には決して黒字会計ではありませんが設置当初の目的は達成した観があり、民間委託や農業高校への転用などを含め

将来の方向性を示して下さい。

町長答弁

当研修センターが果たしてきた役割は、製造・販売や研修をする本来の機能ばかりではなく、農業高校の乳製品加工実習をはじめ、民間チーズ工房への技術指導、食を通じた当地域の産業・文化・観光への貢献があります。

他には持ちえていない技術が当センターに課せられた目的のひとつでもあり、当の間は現在の体制を継続しながら、農業



加工実習風景

計根別中学校新築について

平川 武雄 議員

改築にむけて十分検討します

教 育 長

質問

計根別中学校は、校舎・屋体とも建設から42年以上経過し老朽化が著しく、生徒が安全で安心して学習する環境ではありません。

現在の中学校における状況は狭い・寒い・耐震関係などさまざまな問題が山積しており、生徒がのびのびと授業を受け、一般生活や道徳を学ぶ努力ができ

る環境づくりを整えて上げていただきたい。

また計根別小学校についても建設から40年以上も経過しているため、老朽化が進み、校舎新築については「第六期中標津町総合発展計画」にできるだけ早い時期に盛り込んでいただき、今後養老牛・西竹小学校が計根別小学校との統合も考えられると思われることから、新築に

向けて地域住民の意見を尊重し、実現にむけ特段の努力していただきたい。

教育長答弁

計根別中学校は築42年以上の経過のため老朽化が進む中、さらに、余裕教室もなく狭隘化し

た現状となっており、生徒や教職員には不便をかけている状況と認識しております。
このような現状に鑑み、児童生徒の減少が予測されることから、昨年10月策定の「中標津町立小学校の適正規模に関する基本方針」に基づき、小規模校の統廃合も視野に入れながらPTAや地域の方々と十分協議し平成23年度スタートの「第六期中標津町総合発展計画」の実施計画の中で、できるだけ早い時期の改築に向け十分検討し、教育環境の整備に努めてまいります。



計根別中学校の校舎

学校給食費未納対策について

飯島佐市 議員

公正・公平を念頭に収納向上につとめます 教 育 長

質 問

道内でも給食費の未納問題に苦勞しています。支払い能力が

ありながら支払わない家庭が多いと指摘があり、根室管内も工夫しながら「分割納付」また、悪質な未納者には「裁判所強制執行」などを検討中です。

当町も未納世帯数が平成18年度分149戸、金額631万円、平成9年から17年まで過年度分896万円、

教育長答弁

全国的に学校給食費の未納問題で各学校や、市町村教育委員会が対応に苦慮しています。

平成18年度滞納額、累計で過年度分1,527万円となり滞納額は年々増加傾向にあります。

文教厚生常任委員会より指摘もあり「学級・学校・PTA便利」教育委員会、給食センター、学校長、担任教師とも情報を共有し、未納者への督促や生活困窮者への周知、収納向上に努めます。

地域の食材を使用し「地産地

消」に影

響がないように努

力しますが、

給食費の

未納、原

油高、干

ばつ、穀物被害など原料値上げ

は多大であり、非常に厳しい現

状です。

町税等収納向上対策推進本部との連携強化を図り日々の徴収強化と、公正・公平を念頭に最善の努力と収納向上を図ります。

いきたい。

また公債費の比率を下げるために臨時の措置である繰上償還制度を利用し、安易な税や使用料等の負担増にならないよう努めていきたい。

財政健全化法と中標準への影響

石井初義 議員

町民に負担増にならないよう努力します 町 長

質 問

三位一体改革で地方財政は厳しさを増しているがこの程、成立した財政健全化法によると決算時に健全化判断比率の公表が義務化され、一定基準を越えると財政健全化措置や財政再生措置が強制的に発動される。

新しく導入された連結赤字比率は、全会計が対象であり全国的に医師不足や医療費抑制策が

公立病院会計の悪化をもたらして

ており、当町も例外ではなく一般会計から7億円を繰入れても4億円の赤字決算となっている。今の経営状態が続けば運転資金も底をつく一方、新たな起債の抑制も必要であり、住民負担が増加する懸念はないのか。

町長答弁

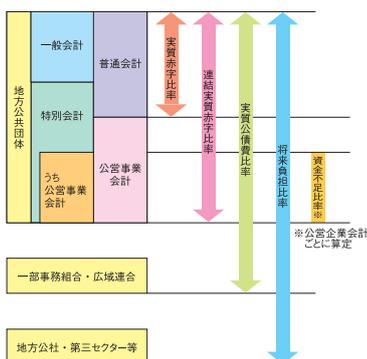
具体的な当町の財政の状態は、

公立病院会計の悪化をもたらして

ても当面の運転資金となる流動資産を12億円有しており今すぐ破綻するような心配はない。ただ病院事業会計の赤字要因は構造上の問題があるので今後も国や道に改善要望していき、一般会計からの繰出しにも限界があるので安定した医師確保に努力し

医療収入の増を図るよう努めて

健全化判断比率等の対象について



給食センター

千歳減便とその対策について

松村康弘 議員

統一した方針を持つて施策を推進

町 長

質問

新千歳・中標津の航空便がもつて休止になりますが、一社だけによつて運航されている路線休止について、全日空側の姿勢はあまりにも冷たいと言わざるを得ません。

一方、私達の側にも、効果の上がる搭乗率上昇に向けて、どのような努力をしてきたのかと反省して提案をいたします。

一、地域のイベントの集約とメッセージ発信力の強化。

二、複数社の就航を視野に入れたチャーター便誘致。

三、地域施策を空港利用促進の視点から再構築。

四、過去に設置されていた国や道、銀行、企業等の代表者で結成されていた連絡調整会議の復活によるアドバイス収集の必要性。

小麦の急激な値上りの先に見える地域戦略について

松村康弘 議員

関係機関と連携を

町 長

質問

昨年に引き続き、小麦の政府売渡し価格の値上げが報じられています。農水省の「価格より量の確保が問題なのだ」という切羽詰った発言を地域としてしっかり受け止めて、農業とそれに関連する食品加工について、地域戦略を研究すべきではないでしょうか。

今日まで十勝の穀物や豆類の

品質において当地域は対抗できませんでしたが、カロリーベーターの食糧を国内で自給するとなると、牧草地も作物栽培の畑に移り変えることや、地域の気候風土に適した種子が求められますが、町として対応していくべきではないか。

また、飽きのこない加工食品の開発も求められてはいないか。

町長答弁

空港利用促進については営業交渉のできる強力な事務局機能の必要性を痛感しています。

空港利用促進のため、行政関連施策を総合的に進めてまいります。特に観光施策との連携は重要と考えており、地域を見わたすと、集客のための結束力を十分に発揮できているとは言いがたく、統一した方針を持つて施策を推進できるよう努力します。

また、小規模地方空港であることを逆手に取つて小回りの利

く営業を展開し、搭乗率の向上に努めてまいります。

連絡調整会議的なものを正式に設置はいたしません。より多くの方々より貴重なご意見を拝聴する機会を増やすべく努力をしてまいります。



根室・中標津空港

町長答弁

輸入穀物が急騰するなか、酪農はかつてない厳しい状況に直面し、デントコーンの作付が倍増しており、寒冷地というハン

ディを背負つたりリスクに対抗する挑戦が始まっています。しかし、当町自体で種子の選抜や育種を行なうことは馬鈴薯のシストセンチュウ対策上原種農場では難しく、農業試験場と提携して対応します。

新しい価値が生まれるのに合わせて創り出される加工食品については、特許や商標登録の可能性なども期待でき、今後畜産食品加工研修センターや農業高校、農協と連携を図りながら積極的に進めてまいりたいと考えております。



畜産食品加工研修センター

広域連合の維持費増大のおそれと当町の対応について

松村康弘 議員

十分に精査・検証してまいります

町 長

質問

テレビのニュース報道で、ゴミ処理のガス化溶融炉の維持費の問題が取り上げられており、四町の広域連合の施設も、計画当初の予定を越えそうな方に分類されていました。

以前広域連合議員として当時の連合長と搬入されるゴミ質や含水量によって消費される石油の量に変動があることについて

質しましたが試運転後の報告を求めます。

また、建設中の施設に入っている内部を視察しましたが、水の流れる配管にステンレスではなく、黒鋼管を用いていましたが、月日を経る間もなくトラブル発生の予感がし、当町の担当者に意見を申しましたが、今後の対応等についてお聞かせください。

町長答弁

この件について広域連合に問合せしたところ、報道関係から電話で照会があったが、当施設では平成21年までメーカー保証期間であるため、具体的な回答はしていないとのことでした。

焼却施設の維持費であります。搬入されるゴミ質と数量の結果、当初の予定より少ない石油消費で済みであり、薬剤費、電気料、水道料とも予定を下回っております。

施設の経年劣化による補修は性能を維持するうえで、止むを得ないもので、毎年高額の費用がかかりますが、四町、広域連合事務局と十分精査検証して、補修費の軽減と長期の安定した運転管理に向け努力してまいります。



焼却センター

今後のまちづくりの取組みは

熊倉重樹 議員

次も町政を担当し、重要課題に取り組む

町 長

質問

町長は、平成16年に羅臼町との合併を推進する立場で選挙を戦い抜き、多くの町民の支持を受けて町長に就任いたしました。合併は相手があつてのことですが、合併新法のもとで検討がされています。

町長は、行財政改革に取り組む健全財政を堅持してきたことは、大きく評価され、財政厳しいな

かで東小学校の建替えなど、数多くの新規事業も推進しました。さらに、医師確保がほぼ安定していることの努力も評価します。

今年度の予算は、骨格でなく通年であると認識しますが、引き続き町政を担当する意志の表れと理解してよろしいですか。

さらに、町長の4年間の総括と、今後の課題もお伺いします。

町長答弁

合併については新法の期限を念頭に、地域の合意と信頼を大切にして、最善の答えを見出してまいります。

当町の発展のため、各分野の施策が一定の推進が図られました。町議会・町民の皆さんに心から感謝をいたします。

未だ重要課題が山積しており、私の公約も実現していないものもあり、これらの課題に真摯に取り組む、未来の中標津を切り開いていくことは、私に課せられた使命であるとの認識から、次

の町長選挙に出させていただく決意を固めました。

今後は、強い農業の確立・中心市街地の活性化・地域温暖化防止等の推進、少子高齢化社会への対応

・地域医療の確立等、重要な課題として取り組む所存であります。



懸案だった東小学校の改築

3月定例会で決まりました。

平成20年3月3日から13日まで開催し、議決された主なものをお知らせします。

3月補正額

一般会計補正予算は1億8,166万円を減額し、112億4,365万円となりました。
 国民健康保険事業特別会計補正予算は235万円を追加し26億7,889万円となりました。
 介護保険事業特別会計補正予算は9,501万円を減額し10億8,446万円となりました。
 下水道事業特別会計補正予算は5億723万円を追加し18億6,989万円となりました。
 簡易水道事業特別会計補正予算は2,488万円を減額し1億9,488万円となりました。
 水道事業会計補正予算は134万円を追加し3億7,359万円となりました。
 病院事業会計補正予算
 資本的収支予算のうち、収入を9,325万円減額し3億9,320万円へ、支出は9,360万円減額し4億7,531万円となり、差引8,211万円の資本的収支不足とする。として議決しました。

条例の改正、

制定が提案されました。

(主な内容を掲載します。)

特別職及び教育委員会教育長の給与に関する条例の一部改正について
 平成20年4月1日から平成21年3月31日までの間に特別職の給料月額を10%、教育長は5%、それぞれ減じる条例改正をしました。

職員の給与に関する条例の一部改正
 平成20年4月1日から平成21年3月31日までの間、職員の給料を前年に引き続き減額する条例改正をしました。
 中標津町職員の修学部分休業及び高齢者部分休業に関する条例の一部改正
 条項の改正

中標津町手数料条例の一部改正

建築物の構造計算書偽装問題などで建築基準法が改正されたことに伴って確認申請者に対する手数料の条例改正がされました。

中標津町総合福祉センター条例の一部を改正
 設置されているカラオケ機器の利用頻度が低いため施設管理の経理節減などから廃止の条例改正をしました。

中標津町知的障害者地域生活援助事業の運営に関する条例の一部改正
 グループホーム使用料、食費、光熱水費等、入居者負担は3万2,000円となっておりましたが、負担軽減の条例改正をしました。負担軽減額は4,100円となります。

中標津町乳幼児医療費の助成に関する条例及び中標津町重度身体障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について
 用語の定義と条項の順位の条例改正をしました。

中標津町国民健康保険条例の一部改正について
 一部負担金の自己負担割合の年齢の改正などです。

中標津町国民健康保険条例の一部を改正
 正について
 「健康保険法等の一部を改正する法律」に基づき、高齢者の医療の確保に関する法律及び「地方税法の一部改正」と「地方税法施行令の一部改正」に伴う条例の改正をし

ました。
 中標津町介護保険条例の一部改正について
 介護保険制度は平成12年施行され、3年ごとに制度の見直しをしてきました。高齢者の自立を促進するため通所型介護予防事業に参加しやすいよう1日コースのほか半日コースを新設し、特定高齢者の積極的な参加を促すものでこれに伴う利用者負担金を設定する条例改正をしました。
 中標津町立学校授業料等徴収条例の一部改正について。
 道立高等学校の授業料改正に伴ない中標津農業高等学校の授業料も準じて改正する条例改正をしました。改正後は9,900円となります。
 一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定について
 「法律の条項並びに職員の任期を定めた採用に關し必要な事項を定める」とした条例の趣旨を規定し制定しました。
 中標津町後期高齢者医療に関する条例制定について
 条例の趣旨、本町の行う事務、被保険者の規定保険料の納期など、本条10条、附則4条を定めました。

第一回臨時会

第1回臨時会で決まりました。

(平成20年1月16日開催)

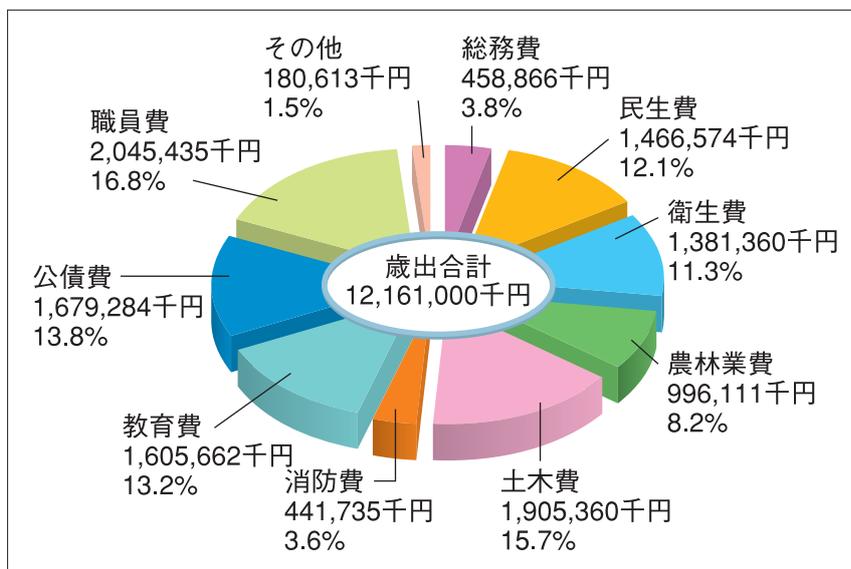
一般会計補正予算
 補正額1,407万円を追加し114億2,532万円となりました。
 町道路線の認定及び廃止
 平成20年1月16日をもって認定されたのは4路線、廃止されたのは1路線となりました。

4日間にわたり 230億の予算を審議しました。

平成20年度一般会計、各特別会計、企業会計は予算審査特別委員会（委員長平川武雄議員）に付託されました。

委員会は3月4日、5日及び10日、11日の4日間にわたり、慎重かつ熱心に審査が行なわれました。

3月13日定例会最終日に平成20年度一般会計予算外、各会計予算ならびに関連条例等について討論があり、吉田貫一議員、佐藤武志議員が賛成討論を行い、採決の結果賛成多数により原案どおり可決しました。



平成20年度 中標津町の予算規模

(単位：千円)

会計名	平成20年度	平成19年度	比較	伸率
一般会計	12,161,000	11,328,000	833,000	7.4%
特別会計	6,112,645	7,014,566	901,921	12.9%
国民健康保険事業特別会計	2,566,367	2,668,018	101,651	3.8%
老人保健特別会計	139,352	1,523,797	1,384,445	90.9%
後期高齢者医療特別会計	188,684	-	188,684	皆増
介護保険事業特別会計	1,150,909	1,161,389	10,480	0.9%
公設地方卸売市場事業特別会計	15,516	16,200	684	4.2%
町営牧場特別会計	61,859	64,792	2,933	4.5%
下水道事業特別会計	1,664,933	1,363,087	301,846	22.1%
簡易水道事業特別会計	325,025	217,283	107,742	49.6%
企業会計	4,732,594	5,054,598	322,004	6.4%
水道事業会計	622,366	616,156	6,210	1.0%
病院事業会計	4,110,228	4,438,442	328,214	7.4%
合計	23,006,239	23,397,164	390,925	1.7%

3月定例会 委員会一問一答

◆燃料費高騰について

【質問】

燃料費高騰に伴う指定管理施設の予算額は

【答弁】

燃料費の積算は平成18年度の単価を基準にしており、単価変動の場合は、必要に応じて予算補正を行います。

本年度の上乗せ予算は、温水プールの504万を含め5施設で854万2千円となります。

◆パークゴルフ場 クラブハウスについて

【質問】

5期町総合発展計画に入っていないものが、突然予算化された経過を聞きたい。また極めて近い範囲に3箇所ものトイレがあるが、あまりにも場当たりの計画ではないか。

【答弁】

毎年愛好者の団体から要望を受けており、5期町総合発



展計画の中ではローリングの作業の中で、予算化の目的がたつたので今回の予算案提示となった。トイレに関してはご指摘のように3箇所あるが、各種大会の際には多数の愛好者が集まるため、そのまま存続させ有効活用したい。

◆町立病院の 会計処理について

【質問】

公営企業法での会計処理は民間の会計処理と違い、民間での長期借入金金が資本金として処理できるため、約88億円の資本金の企業となる。対する売り上げは34億円で、このような会計処理方法が合法化されている結果、債務超過になつていないだけで、実際には支出が伴わない減価償却費は累計いくらず、その現金はいったいどこへいつているのか。キャッシュフローはどうか。

【答弁】

公営企業法上での会計処理で企業債は借入資本金として資本金処理が認められていないが数字は議員指摘の通りです。減価償却累計総額は約44億円あり内訳はおよそ現金で7億円強、利益剰余金として35億円がマイナス計上され、キャッシュフローに関して、現在は問題は無いが将来的には2億円から3億円程度のショートが発生すると予想しています。

◆収納向上 対策推進経費

【質問】

前年対比75万円削減は、徴収嘱託一人分の人件費ですか。納税啓発、滞納整理強化と説明していますが、徴収嘱託員一人で強化出来るのか。

【答弁】

徴収嘱託員が各家庭を訪問し、毎月収納できるまで協議しながら収納向上に努めます。徴収嘱託員1人分の人件費は72万円です。

◆新規就農者対策 事業補助について

【質問】

昨年まで新規就農者に対して300万円の補助金を出していたが、今年度は予算化されていないがなぜか。

【答弁】

現在、新規就農者の予定がないので予算計上していないが新規就農者が出た場合、補正予算で対応します。

◆北方4島に 空路開設を

【質問】

北方四島への航空路整備促進の活動内容について

【答弁】

18年2月の「北隣協」の再構築提言による北方四島とのアクセス機能の整備、北方四島在ロシア人への医療支援に

ついて国への要望活動を行なっています。

◆エゾシカ農業被害 対策経費について

【質問】

エゾシカ食肉加工施設が建設され、有害駆除されたエゾシカを買い取り処理するということだが、いつ完成して、年間どのくらいの処理を計画しているのか。

【答弁】

施設については、建設中で3月中旬には完成の予定ですが有害駆除頭数は全て買い取つて、昨年の頭数は759頭でした。

狩猟期をふくめると年間約1000頭の処理を予定しているところですが。



平成20年

予算審査特別

◆ 町立学校授業料徴収条例の一部改正

【質問】

四月から道立高校の授業料が新一年生より99000円に改訂されるのに伴い、農業高校の授業料も改訂されるが、町立農校としての特色をいかし、改訂を延ばし、行政としてPTA、教育振興会等との連携を密にして町広報紙への活動状況を掲載するなど生徒増に向けた取組みが必要ではないか。

【答弁】

四月一日より道立高校の授業料の改訂に伴い、それに準じて改訂するものであり、教育を受ける公平・公正を期するもので、このような措置を取りました。

また、農業クラブ活動状況については、「生活学習だより」に掲載しPRを行ない、授業料の値上げ分については管理運営費として活用させていただきます。

◆ 地元からの町税減少と対応策について

【質問】

予算編成にあたり、当町の税収は全体として増える方向にあるが、中身を分析すると、地元資本の苦戦が感じます。

地元経済団体や商工会から中小企業振興基本条例の制定を求められているが、行政と地元企業による地域振興のき

つかけになると思うが制定への努力を。

【答弁】

商工会、中小企業同友会から同条例制定に関する要望を受けています。

道内では帯広市ですでに条例化している例もあり、当町では自治基本条例制定の努力をしており、これらの動きを統合する中で、地元企業の存在の意義をしっかりと位置づけ対応してまいります。

◆ 条件付一般競争入札の試行について

【質問】

新年度より1,000万円を越える町発注事業に条件付一般競争入札を試行していく旨が示されました。

従来、施工者責任は2年ですが、これを工種により5年及び10年に延長することによって、施工業者は、設計内容を事前にチェックし問題点を入札前に提起することにより、トータルで町の負担軽減につながるのではなからうか。

【町長答弁】

問題発生時の対応時間を応募条件の中に加えることと併せて研究してみてもいいか。

◆ 農業高校クラブ全国大会出場と成果の運用について

【質問】

中標津農高は「食育・パートナー」をテーマに農業クラブ実践発表で全国大会出場を獲得しました。

食育は「人は食べることにしに生きていけず、食べるということはすなわち他の生命をいただくことである」という試みは日常の食を作り、育て、食べる行為を気付きの場とするもので、当町が発信すべきメッセージの最たるものであります。

この成果を、同校の生徒数充足の契機とするような展開が求められると考えるのか。

【答弁】

全国大会出場を高く評価し、この成果を積極的に、さまざまに応用して、同校生徒数を満たしていくために運用していきたいと思えます。



◆ 子育て支援事業

【質問】

ここに子育て支援センター

事業や、いどばたの学校事業がすばらしい成果を上げ、全国発表となっています。

先端的試みとして高く評価するとともに、このような試みが他地域から多くの視察などの波及効果を生むことが期待できるのではなからうか。

地域におけるさらなるアピールの機会を増やしてみてもいいか。

【答弁】

農校の生徒たちに協力してもらい、地域の児童館で野菜づくりなどを行ない、子供たちの成長の一助となったり、出産予定のお母さんに学校へ集まってもらって、いどばた的に子育ての準備をしていたり、だくなどの実践例をさらに広げていく中で地域の向上と地域振興に連動するよう努力してまいります。

◆ 町道維持補修について

【質問】

郡部の町道の維持管理は、町と地域住民が一体となって管理していたが、今は委託業者が行なっていて管理が、行き届かなくなってきたり、今後に思われるが、今後どのように行なっていくのか。

【答弁】

交通事故等も心配されるなか、協働で行なう町づくり等を勘案しながら地域と良く話し合いをしながら進めて行きます。

常任委員会

活動レポート

総務常任委員会

- 調査内容
- ・ 町有財産の売払いについて
 - ・ 町有財産売払い済み報告について
 - ・ 町有財産の管理について

町有財産の売払いについて

売払う土地
中標津町字計根別278番8
原野売買金額
437万1,445円

売払う土地
中標津町字豊岡7401番
原野売買金額
20万6,465円

考に。
価格の決定は交換分合での単価を参

考に。
価格の決定は交換分合での単価を参

考に。
価格の決定は交換分合での単価を参

考に。
価格の決定は交換分合での単価を参

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は、一般会計だけでなく、企業会計や一部事務組合の財政状況等5項目の健全化判断比率の基準を設定し、早期の健全化及び再生をはかるもので19年度決算より判断比率の公表が義務づけられます。

なお、町の平成18年度決算額による

試算では企業会計も含め、いずれの指標も基準をクリアしてあります。



売払い済み土地（西町）

文教厚生常任委員会

- 調査内容
- ・ 中標津町きれいな街にする条例の見直しについて
 - ・ 国民健康保険事業について
 - ・ 町立病院の管理運営事務調査

中標津町きれいな街にする条例の見直し

（町民生活部）

すでに制定されている「中標津町きれいな街にする条例」について見直しをする観点で議論をしました。町民の責務、町の指導・勧告、措置命令、過料にウエイトを置き、条例を有効あるものにしたという思いで、引き続き検討することになりました。

18年10月の「高齢者の医療の確保に関する法律」の施行や「国民健康保険法」「地方税法等」の改正を受け、4月からの賦課基準の変更で、1月に国民健康保険運営協議会に税率改正を諮問しました。

一、財政調整基金はむやみに取り崩しせず健全経営に資するよう活用願いたい
二、健全経営で収納向上対策を図った上で、さらに税率のマイナスイラストが可能な実現してほしいとの付帯意見が付けられ答申を得たとの報告。

（町立病院）

12月末での入院・外来患者数は、前年同期に比べ減少しています。入院・外来の診療収入は、若干の減少であることが報告されました。
また2月からの外来診療体制についても報告されました。



公園に設置された条例の看板

産業常任委員会

- 調査内容
- ・ ターミナルビル増改築工事視察

中標津空港ターミナルビル

中標津空港ターミナルビルは平成元年に新滑走路の完成とともに供用開始となりました。

当時は126人乗りのボーイング737型機が運航されていましたが平成9年に滑走路が2,000mに延長されると、繁忙期は中型機である279人乗りのボーイング767型機が運航し年間利用者も平成2年の12万人から20万人を超えるようになりました。

中型機の乗降時は現ターミナルビルの待合室などに十分なスペースがなく利用客に不便をかけていることから増改築することになりました。

工事は昨年4月より本年3月までの1年間で面積は既存の2,316㎡から増改築後には3,806㎡になりました。

2月1日に一部供用開始になった1階の荷物受け取り所と到着ロビー、2階の売店とレストラン部分を視察しました。



空港内部視察状況

議会には4つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会は、この間を活用し、所管する事項の調査をしています。主な調査事項を報告します。

建設常任委員会

- 調査内容
- ・ 東小学校屋内運動場増改築工事の進捗状況
 - ・ 中標津町住生活基本計画、公営住宅整備活用計画について
 - ・ 下水道事業に係る公的資金補償金免除繰上償還について

東小学校屋内運動場増改築工事の進捗状況

東小学校屋内運動場増改築工事は、現在、進捗率85%で3月に完成する予定。屋内運動場の特徴は、南北面のカーテンウォールから、自然光を多く取り入れた明るい室内と、2階にはギャラリーを設け、卒業式やイベントには観覧スペースとして利用でき、さらに、知床の山並みが一望できる設計となっています。

「中標津町住生活基本計画」及び「中標津町公営住宅整備活用計画」の最終案が提示されたので、委員会で審議し了承し、今後、一部記載事項等を訂正し策定されることになっています。下水道事業において過去に国等から借り入れた利率5%以上の起債（借金）について、経営健全化計画を策定（実施）することで、繰上償還が認められました。

繰上償還の財源として低利な民間資金を充てることから、全体で3億304万円の利子軽減が見込まれ経営の健全化に寄与することになります。



東小屋内運動場視察状況

意

「先住民族の権利に関する国際連合宣言」に関する意見書

提出者 松村 康弘 議員
アイヌ文化、伝統に対する国民の理解度は進展があるが、多くの課題もある。国連が「先住民族の権利に関する国際連合宣言」を採択した日本でもアイヌ民族の位置づけや権利を審議する機関を設置されるよう要望する。

見

地域医療の確保に関する意見書

提出者 高田 重樹 議員
総務省は「公立病院改革ガイドライン」を示し、自治体病院の経営効率をめざすものとしているが、自治体財政の悪化等による影響が多く、医師体制の構築、実効ある施策及び財政措置の充実等を強く要望する。

書

脳脊髄液減少症の研究・治療等の推進を求める意見書

提出者 佐藤 武志 議員
脳脊髄液減少症は交通事故等で頭部や全身への衝撃により、脳脊髄液が慢性的にまれ続け、頭痛、めまい等の症状が複合的に発現する。しかし、病気の認知度が低く、診断法、治療法の早期確立、保険適用の早期実現を強く要望する。

WTO農業交渉及び日豪EPAに関する意見書

提出者 後藤 一男 議員
オーストラリアとの交渉で乳製品等の関税が撤廃されると、国民の食料安全保障に大きな影響を与える。
交渉では北海道農業への大きな影響を考え、「重要品目の例外扱いの確保」を絶対条件にすることを強く要望する。

人事案件

根室支庁管内町村公平委員の選任に同意しました。

住所

標津郡中標津町

東13条北7丁目1番地6

氏名

池田 一昭

生年月日

昭和20年3月21日(62才)

任期

自 平成20年4月1日
至 平成24年3月31日



住所

標津郡中標津町

東24条南5丁目2番地

氏名

上野 勝侑

生年月日

昭和13年12月29日(69才)

任期

自 平成20年3月23日
至 平成23年3月22日



平成20年 1月から3月までの行事関係

期 日	行 事	出 席 者	期 日	行 事	出 席 者
1月6日	新年交礼会（中標津・計根別）	議 長 他	26日	議会運営委員会	10/10
7日	中標津町成人式	議 長 他	27日	議会改革特別委員会	9/9
8日	中標津消防団出初式	議 長 他	3月3日	3月定例会本会議（1日目）	23/23
16日	第1回臨時会	23/23	4日	3月定例会本会議（2日目）	23/23
	第30回中標津町表彰式	23/23		予算特別委員会（1日目）	23/23
28日	平成19年度第2回中標津空港 利用促進期成会総会	副 議 長	5日	予算特別委員会（2日目）	23/23
31日	総務常任委員会	6/6	6日	産業常任委員会	6/6
	文教厚生常任委員会	5/6		建設常任委員会	5/5
	産業常任委員会	6/6	7日	総務常任委員会	6/6
	建設常任委員会	5/5		文教厚生常任委員会	6/6
2月1日	根室管内町村議会議長定期総 会・管内4町正副議長協議会 （中標津町）	正 副 議 長	10日	予算特別委員会（3日目）	23/23
	ねむろ自然の番人宣言調印式 （中標津町）	議 長 他	11日	予算特別委員会（4日目）	23/23
6日	文教厚生常任委員会	6/6	12日	議会運営委員会	10/10
7日	2008「北方領土の日」根室管内 住民大会（根室市）	議 長 他	13日	3月定例会本会議（3日目）	23/23
15日	森林の保全と活用に道民との 意見交換会（釧路市）	林 活 会 長 他	14日	第59回北海道植樹祭 in 中標津 パートナー連絡会議	林 活 会 長
23日	武部勤衆議院議員を迎え要望 会（釧路市）	議 長	19日	議会広報特別委員会	5/5
25日	標津・依橋大規模草地一部事務 組合、根室北部衛生組合定例会 （標津町）	議長他関係議員	24日	議会広報特別委員会	5/5
	根室北部消防事務組合、中標津 町外2町葬斎組合、根室北部廃 棄物処理広域連合 議会定例会（中標津町）	議長他関係議員	25日	議会広報特別委員会	5/5
			27日	全日空に対する中標津空港利 用促進期成会の要望活動 （東京都）	議 長
			28日	文教厚生常任委員会	5/6



議会だよりに対する
ご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197
北海道標津郡
中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場

TEL(0153)73-3111
FAX(0153)73-5333

議会事務局にご連絡を

- ・ホームページは
<http://www.nakasjibetsu.jp>
- ・メールは
nakasi-t@arens.or.jp

発行／中標津町議会

編集／中標津町議会広報特別委員会

毎日、灯油価格の値上がりや気にしながらストーブの温度を調整をしておりました。例年にくらべ寒さ厳しく、積雪は少なく除雪が楽な冬でした。町の除雪費もだいぶ助かりました。そんな時期も過ぎ桜の季節も近づいてきました。

平成19年度の最終議会は、3月3日より13日まで開催され平成20年度の各会計予算及び関連する諸条例が審議されました。引き続き厳しい歳入内容です。

本年も理事者・職員の給与カットなど自ら痛みを伴い歳出を抑えました。

本年は改選期にあたり、通常は骨格予算を編成しますが、行政運営を停滞することなく通年予算を編成しています。

4月から今までの老人保健制度にかわり、75歳以上の全員一定の障がいのある方は65歳以上を対象に後期高齢者医療制度が始まりました。いままでの老人保健制度では老人を国保や会社の健康保険などの被扶養者などとしていましたが、将来にわたり高齢者の医療費を賄っていくために、75歳以上等の高齢者から保険料の負担を求めるものです。

多くの方が「年金引き」で保険料を徴収されます。介護保険料と合わせると、多くの高齢者が平均で毎月約1万円ほどを天引きされます。

国は、国民に支払うべき年金もまだ確立していないのに、保険料を「天引き」の方法で強制するのはいかがなものか？

社会的弱者にさらなる負担を強いることになりはしないでしょうか。

編集を終えて